

令和4年度 第78回 大学院セミナー

2023年3月2日

分野名 (責任者名)(内線)	医歯薬学総合研究科/原爆後障害医療研究放射線リスク制御部門 放射線災害医療学分野(原研医療) 責任者名(光武範吏) 内線(7116)
演題	元外科医の基礎研究者が趣味が高じて、 モノクローナル抗体作製のベンチャーを作ったってよ
講師等	島根大学医学部病態生化学・教授 株式会社 mAbProtein・代表取締役 浦野 健 先生
概要	<p>長崎大学医学部硬式庭球部を卒業し、第二外科で腹部外科医としての研鑽を積んだのち、大学院生として入学した腫瘍医学教室で珠玖洋教授と出会い、基礎研究者としての道を歩み始めることになった。研究テーマであるタンパク質に対する抗体が世の中に存在しなかったため、作るならモノクローナル抗体を！ということで、自分で作製することになった。それ以降、長崎大学、名古屋大学、そして島根大学在籍中に多くのタンパク質や翻訳後修飾特異的ペプチドなどに対するモノクローナル抗体を作製し、自分たちの研究で使用するばかりではなく、全世界の研究者に提供してきた。</p> <p>第一内科の川上 純 先生のグループから依頼されたヒト IL-18、特に活性化断端に対する中和活性を有するモノクローナル抗体の作製は大きな転機となった。炎症と関連する多くの疾患で IL-18 は増加することが知られており、治療薬としても使える可能性があったからである。</p> <p>そこで、ヒト IL-18 活性化断端抗体を基にしたヒト化などのバイオ医薬品の研究開発、そしてこれまで培ってきた研究シーズ(特殊な抗体作製技術)を活用した、炎症を中心とした疾患に対する研究試薬・診断キット・診断・分析検査事業を業務とした、島根大学発ベンチャー株式会社 mAbProtein (マブプロテイン) を 2018 年 3 月に設立した。</p> <p>開発を進めている抗体が医学における最先端の研究に役立つだけでなく、医療現場において病気の早期診断や病態解明、さらに各種疾患の革新的な治療薬になることを期待し解説するとともに、資源の少ない日本での基礎研究者の選択肢の一つとしてベンチャー起業家の一例を提示し、みなさんと議論したい。</p>
開催日時	2023年3月10日(金) 17:30~19:00
場所	良順会館 専斎ホール
備考	本セミナーは、原研研究集会の一環として行います。

- 先端医療科学特論(基礎編)
- 先端新興感染症病態制御学特論
- 日本語 (Japanese)
- 対面 (Face to face)

- 先端医療科学特論(臨床編)
- 先端放射線医療科学特論
- 英語 (English)
- オンライン (Online)